

2023 年度 事業計画

施設名 グループホームきぬた

1 利用計画数

事業種別 重度身体障害者グループホーム 定員 5人 利用者 5人

(1) 障害支援区分

区分6	4人	区分5	1人	区分4	0人	区分3以下	0人
計	5人						

(2) 障害の程度

		身体障害者手帳				計
		1級	2級	3~7級	なし	
愛 の 手 帳	1度					0人
	2度	1人				1人
	3~4度					0人
	なし	4人				4
計		5人	0人	0人	0人	5人

(3) 年齢、性別

10代以下	0人	40代	0人
20代	0人	50代	4人
30代	1人	60代以上	0人
計		5人	

男性	5人
女性	0人
計	5人

※平均年齢：53歳（4月1日現在）

2 事業実施計画

(1) 活動・支援の内容

概要

- グループホームは入居者の「わが家」であり、主体は入居者にある。支援の原則は、結論を急がず、時間をかけて、情報提供の工夫や経験の積み重ねをしながら、その人らしい人生を選び取っていくプロセスを大切にする。「一緒に悩んで、一緒に取り組み、一緒に成果を喜び合える」ことを大切にしていく。
- 一人ひとりのニーズを確認し、それぞれのライフステージに沿った支援をチームで考え、実践していく。
- 入居者の意見や心配・希望を軸に、ご家族、ヘルパー事業所、通所先や医療機関、地域との連携を積極的に行う。
- 一人ひとりの生活を基本とした「外部サービス導入型」グループホームとして、その独自性を維持し発展させるよう安定した運営を目指す。

(2) 地域交流

- 「きぬたドーナツ通信」の発行が定着しており、ホームページの充実とともに、引き続きグループホームきぬたからの情報発信を積極的に行う。
- 昨年度から取り組んだ近隣のNPOやコミュニティとの交流イベント「ぐるぐるキヌタ」を定期的に開催し、地域住民を巻き込んだ交流に発展させる。
- 砧町自治会の活動における防災訓練や防犯パトロールを入居者路と共に行うなど、引き続き地域活動に協力していく。入居者が地域の中で役割を持って暮らし、地域に認知される取り組みを進める。

(3) 家族、関係機関との連携等

- ・ 家族会の開催のほか、適宜、連絡や報告、相談につとめていく。特に家族の高齢化に伴い、家族への支援も必要となってきたケースもあり、成年後見人制度など家族への各種情報提供や、関係者と情報共有および連携しながら支援していく。
- ・ 日々の生活に関わるヘルパー事業所とのミーティングを定期的に行い、入居者の状況の情報共有、連携を強めていく。
- ・ 世田谷区内外のグループホームとの交流を深める。とりわけ「重度身体障害者グループホーム連絡会」に参加し、都内の重度身体障害者グループホームとの交流・情報共有・連携・協力を深めていく。
- ・ その他、入居者にかかわる多くの機関との報告、連絡、相談、そして記録を確実に行う。

(4) ボランティアや実習生の受入れ

- ・ 引き続き入居者の点字学習を支援するボランティア、日曜日の夕食づくりのボランティアなど受け入れを継続する、
- ・ 学生ボランティアサークルと連携し、「ぐるぐるキヌタ」への参加や定期的な入居者との交流など、積極的に受け入れていく。

(5) 危機管理

- ・ 新型コロナウイルスをはじめ感染症対策を引き続き継続するとともに、日頃の入居者の体調変化に気づき、健康管理を確実にを行う。
- ・ 管理者が不在の場合でも、スタッフ内部での情報共有と関係者への連絡体制のシステムを構築する。
- ・ 引き続き、夜間想定や実際の日没後の避難訓練を、地震や火災の想定で繰り返し行う。

(6) 職員研修の実施

- ・ 定例化している「入居者の心とからだについて考える勉強会（ケーススタディ）」をさらに発展させ、コミュニケーションや入居者の健康や生活費（金銭管理）、家族のことなど、具体的な課題について深めていく。
- ・ 「障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会」全国大会に参加し、各地の運営や実践から学び、当ホームの運営や実践に生かしていく。
- ・ このほか、法人研修や外部研修にも非常勤職員が参加できるよう勤務を調整する。

3 重点目標と取り組み

- ① **20周年の歩みを踏まえ、グループホームきぬたの独自性を発信する**
グループホームきぬたは、本年4月で20周年を迎える。この20年間を振り返るとともに将来を見据え、重度身体障害者グループホームという独自性・重要性を内外に発信する。
- ② **入居者それぞれの人生マップを作成し、将来に渡って自分らしい生活の実現を目指す**
引き続き入居者それぞれの「人生マップ」を一緒に作成し、5年後、10年後を見越して現在の生活（健康、家族、支援、住まい、お金など）を見直す。また、この間コロナ禍でできなかった各自の楽しみ（旅行や外出、色々な人との交流など）を感染に気をつけながら実施し、健康で豊かな生活を目指す。
- ③ **地域の中で役割を持って暮らし、より広い人たちと繋がる**
近隣コミュニティとの「ぐるぐるキヌタ」を定期的で開催し、地域との繋がりをさらに発展させる。また、引き続き砧町自治会活動への協力（防災訓練や防犯パトロールなど）を行い、入居者が地域の中で役割を持って暮らし、地域に認知される取り組みを進める。